令和8年10月9日（金）

発達障害者雇用に向けた企業支援セミナー

発達障害者の特性と理解

埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」

相談員　袴田信吾

はじめに

本日は企業支援セミナーへご参加いただき、誠にありがとうございます！

このコマでは、発達障害の一般的な特性と、それによって生じる可能性のある困りごとおよび対応についてお話しさせて頂きます。

短い時間ですがどうかお付き合いください！

埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」について

平成14年10月

埼玉県自閉症・発達障害支援センター「まほろば」として開所

平成17年４月

埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」に改称
（発達障害者支援法施行により）

受託法人／社会福祉法人けやきの郷
所在地／川越市平塚新田
法人内実施事業／
初雁の家（障害者支援施設）
やまびこ製作所（生活介護事業）
ワークセンターけやき（多機能型支援事業）
グループホーム潮寮（共同生活援助）
障害者相談・地域支援センターけやき
（委託相談、計画相談）

埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」について

相談対象者

19歳以上の発達障害のある方、その疑いのある方、そのご家族、
発達障害者支援に関わる機関の支援者

※18歳までの方は「埼玉県発達障害総合支援センター」
※さいたま市在住の方は「さいたま市発達障害者支援センター」

相談支援での主たる役割

２次・３次支援（つなぐ支援、支援者への後方支援）

その他の事業

機関コンサルテーション
地域のネットワーク構築（地域巡回支援事業）
強度行動障害者の地域移行・定着支援事業（広域的支援人材配置事業、集中的支援事業）

発達障害とは

発達障害とは

知的な遅れを
伴うこともある

広汎性発達障害（PDD）

自閉症
・言葉の発達の遅れ
・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの障害
・対人関係・社会性の障害
・パターン化した行動、こだわり

アスペルガー症候群
・基本的に言葉の発達の遅れなし
・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの障害
・対人関係・社会性の障害
・パターン化した行動、興味・関心のかたより
・不器用（言語発達に比べて）

※ICD-11準拠の「疾病、傷害及び死因の統計分類」では「**自閉スペクトラム症**」

注意欠陥多動性障害（AD/HD）

・不注意（集中できない）
・多動・多弁（じっとしていられない）
・衝動的に行動する（考えるより先に動く）

※ICD-11準拠の「疾病、傷害及び死因の統計分類」では「**注意欠如多動症**」

学習障害（LD）

・「読む」「書く」「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

※ICD-11準拠の「疾病、傷害及び死因の統計分類」では「**発達性学習症**」

※このほか、トゥレット症候群や吃音（症）、場面緘黙なども発達障害に含まれる

厚生労働省（発達障害支援施策）HPを参考に作成

発達障害とは

発達障害者支援法における発達障害

脳機能の発達の障害
症状が通常低年齢で発現

・自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害
・学習障害
・注意欠陥多動性障害
・その他
→言語の障害
→協調運動の障害
→心理的発達の障害
→小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害

ICD-11（国際疾病分類）

発達期に生じ、知的・運動・言語・社会的機能の獲得と遂行に著しい困難を伴う、行動および認知の障害

・知的能力症群
・**自閉スペクトラム症（ASD）**
・注意欠如多動症（ADHD）
・発達性学習症（SLD）
・発達性発話・言語症群
・発達性協調運動症
・常同運動症群、一時性チック・チック症

発達障害とは

発達障害を理解するうえでの基本的な特徴

①脳機能の特性

→甘え・わがまま・育て方の問題ではない

②低年齢から症状が現れる

→成人期になって突然発症するものではない

③社会生活上に支障(困り事)が生じやすい

→支障がなければ診断の対象にならない

※各発達障害が重複することあり（例：自閉スペクトラム症＋ADHD）

自閉スペクトラム症（ASD）とは

○対人関係、社会的コミュニケーションの特性

・場の空気・言葉の裏を読めない
・相手と視線を合わせるのが苦手
・相手の表情等から感情を読めない
・対人交流に対する関心が低い

○想像力、こだわりの特性

・目に見えないもののイメージが苦手
・ルーティーン（物事の順番、配置）を好む
・予定等の変化に強い不安・抵抗を示す
・特定の知識（時刻表、電車等）に強く固執

自閉スペクトラム症（ASD）とは

○感覚の特性

・音・光を強く感じる、衣服の肌触り・匂い・特定の食感を過度に嫌がる（感覚過敏）。

・痛み・熱さ・寒さを感じにくい。ケガに気付かない（感覚鈍麻）。

・姿勢の保持が苦手、乗り物酔いしやすい（前庭覚）。

・力の調整ができず物を落とす、こぼす（固有覚）。

自閉スペクトラム症（ASD）とは

学習スタイル

→自閉スペクトラム症の人に共通する独自の考え方・感じ方

○目で見て理解することが得意

○相手の気持ちの理解が苦手

○感覚の違い

○見通しを持ちにくい

○細部に注目

→情報を整理して全体として理解する力（中枢性統合）に関連

自閉スペクトラム症（ASD）とは

○中枢性統合の例

自閉スペクトラム症（ASD）とは

○中枢性統合の例

注意欠如・多動症（ADHD）とは

○不注意

・忘れ物・失くしもの・ケアレスミスが多い
・集中が続かない
・口頭での指示などをすぐに忘れてしまう
・段取りが苦手

○多動・衝動性

・順番を待てない、話をさえぎってしまう
・じっと座っていられない
・思いついたらすぐ行動
・様々な思考が次々浮かぶ

発達性学習症（SLD）とは

※知的発達に遅れがないのに以下の特性がある

○読字障害（ディスレクシア）

・文字を読むのが極端に遅い、正確に読めない

・行を飛ばす、似た文字を取り違える

○書字表出障害

・字を書くのがとても苦手

・誤字脱字が多い、文章がまとまらない

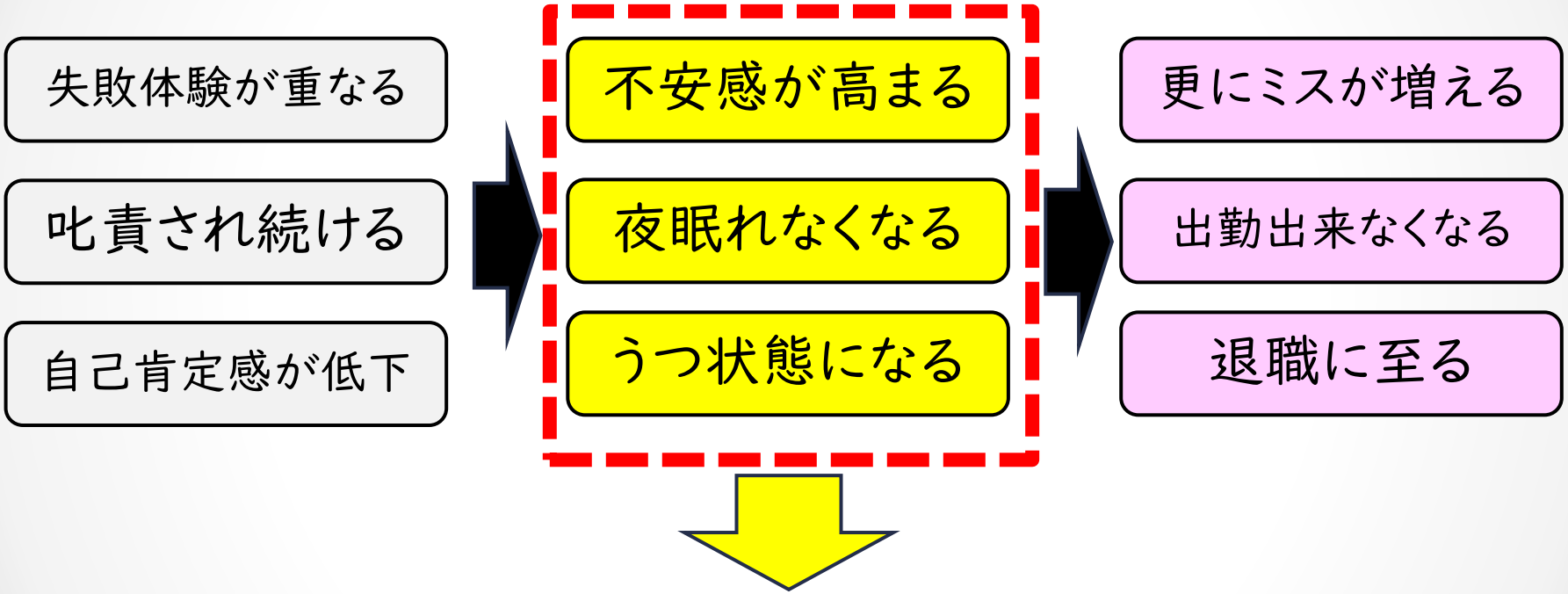
○算数・数学障害（ディスカリキュリア）

・計算が極端に苦手

・数の概念や文章題の理解が難しい

二次障害について

特性に合わない環境で無理に続けると・・・



二次障害

症状悪化の際には治療を優先

仕事上での困りごとと対応の例

仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】

急な予定変更が苦手

【対応】

変更はできるだけ
早めに伝え、新しい
予定を具体的に伝える

仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】

感覚過敏があり、大きな音、光、人混み等で強い疲労・ストレスを感じる

【対応】

イヤマフ、刺激の少ない席、照明・音の調整等

仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】

曖昧な指示が分かりづらい

【対応】

- 5W2Hで具体的に伝える。見本・手順書を示す

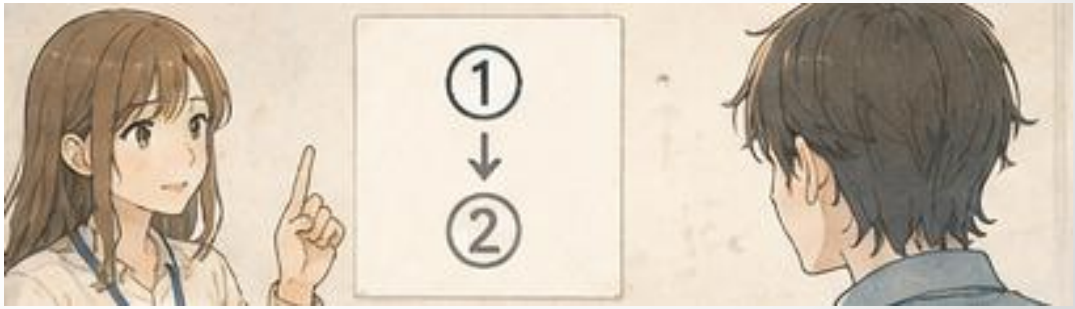
仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】

複数の作業を同時に進めるのが苦手

【対応】

仕事を任せる際は、優先順位を明確に伝える



仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】

作業手順が変わる
と動けなくなる
（般化が苦手）

【対応】

変更した手順を
明確に伝え最初
だけ一緒に行う

仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】

困っていてもどの段階で誰に相談すれば良いか分からない

【対応】

相談窓口を定め、

〇分悩んだら相談する等ルールを決めておく

仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】
忘れ物が多い

【対応】
チェックリストを
活用する
予備を多く用意する

仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】

時間管理が苦手で
遅刻が多い

【対応】

前日に準備を終える

「出発」ではなく、
「準備開始」時刻を
決める

仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】

ケアレスミスが多い

【対応】

確認項目のリスト化、

ダブルチェック

仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】
締め切り直前まで
着手できない

【対応】
作業を小さく区切って依頼する
中間締め切りを設定

仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】

複数の指示を同時に覚えられない

【対応】

指示をメモ等で伝える

一つずつ伝える

仕事上での困りごとと対応の例

【困りごと】

注意が途切れて作業に集中できなくなる

【対応】

作業時間を短く区切る

例：30分単位で区切る

仕事上での困りごとと対応の例

対応例の共通点＝『視覚的に（見て）分かりやすく』

- 置き場所にラベル・色分け。
  どこに何があるか一目で分かる。

写真・イラストで手順を示し
見て理解できるようにする。

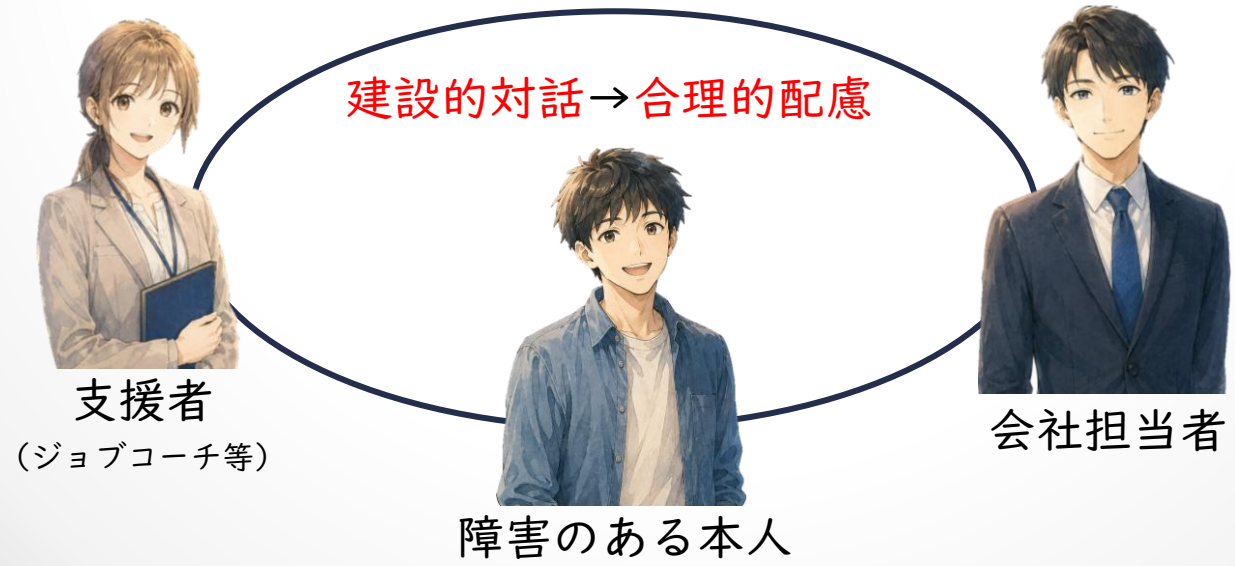
- ルール・スケジュールを目立つ
  デザインや色で分かりやすく。

仕事上での困りごとと対応の例

お互いの事情を理解しあい（建設的対話）・・・

会社にとって現実的な限度を超えない（過重な負担とならない）範囲で・・・

職場環境の調整（合理的配慮）をご検討ください！



特性を活かした業務の例

特性を活かした業務の例

次から示す例は、あくまで一例です。『発達障害の人にはこの職が合っている（合っていない）』と一元的には言えないため、障害含めた個人の特性（得意・苦手、好き・嫌い等）をもとに、業務とのマッチングを検討することが大切です。

特性を活かした業務の例

決められた手順を繰り返すことが得意

→工場ライン作業、部品組立て、

梱包作業 等

特性を活かした業務の例

細部に気付きやすい

→数値チェック、検品、品質検査 等

特性を活かした業務の例

興味・知識を深く掘り下げる

→IT関連、専門情報の収集・分類 等

特性を活かした業務の例

行動力・フットワークの軽さ

→営業、配送・集配補助 等

特性を活かした業務の例

発想の多様さ

→イベント企画、販促アイデア、
業務改善提案 等

おわりに

おわりに

東田直樹氏の言葉（公式Ｘより）

　自閉症の支援というと何か特別なテクニックや対応が必要だと考えている人も多いのではないでしょうか。どのような支援が必要かは、人によって違うと思います。

「味方になってあげたい」そんな風に考えてくれる人がいるなら、その人は当事者にとってのヒーローでしょう。

おわりに

ご清聴いただきありがとうございました。今日お話したのはあくまで一般的な発達障害の特性についてです。障害が有っても、それぞれの生活歴・性格・趣味趣向等の違いがあると同時に、一人一人が個性を持った『人』であることに変わりはありません。

そんな人たちが社会の中で力を発揮して行けるよう、一緒にサポートして頂けましたら幸いです！